

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	発達支援センターかさおか（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	山などの自然に囲まれているので、季節ならではの遊びを行ったり散歩など、しっかり体を動かして遊ぶ経験ができる	竹林を散歩したり、野原を走り回ったり、虫探しやスタンプラリー、シャボン玉など、自然の中で五感を刺激した遊びを行うことで子どもの発達や感性を育てる	引き続き、子どもが興味を持ち、やってみたいと思える活動を考える。子どもたちのやりたいこともしっかり聞いて取り入れる
2	同法人の事業所、こども園など職員同士の情報共有や、地域との関係機関との連携、研修参加などにより、様々な視点で療育を行っている	保育士、言語聴覚士、作業療法士など多職種の職員との情報共有を行う。利用児の所属園に出向いたり、保健師と話し合いをするなど、関係機関との連携もこまめに行っている	連携の頻度をこまめにもうける
3	子ども達、保護者に寄り添い、丁寧な支援ができる職員が多い	座談会や参観日を行ったり、様々な発達に関する情報を掲示、専門書の貸し出しや紹介を行う	もっと座談会や参観日の回数を増やす

	事業所の弱み（※）だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物が古く、狭い	物が多いので、整理整頓に心掛けている	活動に合わせて場所を変えたり、グループに分かれて活動するなどして工夫している
2	地域の人との交流機会が少ないこと	法人主催の祭りは開催されたが、地域の方との交流の場をもうけていない	地域の人との交流の機会をどのようにもうけるか検討する
3			